



## ◇ 節目

3学年主任 数野よし子

「人生の節目」とよく言います。私は寺巡りをするのが趣味で、心惹かれる寺院の庭では長居することもしばしばです。夏の強い日差しを遮って大空に突き抜ける竹、風にゆられてサラサラと心地よい音を運ぶ竹。大地に根を張り、群生する竹林の中で、決して太くない白の一直線の節が、青さを際立たせているように思います。しなやかでいて強い竹稈（ちくかん：幹の部分）を人生に例え、1つ1つの節に人生の区切りを指すのは、実に言い得て妙であると思います。順風満帆な人生などなく、年を重ねるごとに自己決定を迫られることが多くなり、必然的に節目を迎えることもあれば、後から振り返って気づくこともある。高校を卒業することは、まさに必然的な人生の節目であり、一人一人の人生に白い直線を刻むときではないでしょうか。

3月の節目はまもなくやってきます。しなやかでいて強い竹稈に鮮やかな線を刻んでください。

共通テストが無事終了し、学年は安堵しました。皆さんの受験が滞りなく終わられることを祈っています。これまで見守ってくれた方々の想いをのせて、最後まで悔いなくやり切ってください。

### 令和3年2月の主な行事予定

- ・2/4(木) 単位追認試験（3年）
- ・2/5(金) スキー教室（1年）
- ・2/11(木) 建国記念日
- ・2/17(水) 3年登校日（午前 2,4,6組 午後 1,3,5組）  
①学年集会 ②LHR/服装検査 ③大掃除
- ・2/23(火) 天皇誕生日
- ・2/24(水) 2/27(土)の振替休業日
- ・2/26(金) 3年登校日  
①学年集会 ②LHR/服装検査 礼法指導
- ・2/27(土) 同窓会入会式・表彰式・別れの言葉 卒業式予行  
PTA だより発行



山梨県教育委員会  
キャリア教育  
イメージキャラクター

### ◎2月17日（水）について

2・4・6組	1・3・5組	
9:35	13:00	登校
9:40～10:30	13:05～13:55	LHR/服装検査
10:35～11:05	14:00～14:40	大掃除/放課
11:15～12:30	14:45～16:00	年金セミナー(進路確定者)

玉手箱の中身は鏡かもしれない

4組副担任 奥山誠一

最近、自分の顔を鏡で見て愕然とした。

「老けた」・・・過去の自分と比べてそう思った。

少年老い易く学成り難し、光陰矢のごとし、時は金なり

Time Flies・・・

時間は有限だけど、時間の使い方は無限にある。

人間も生物（なまもの）、賞味（消費）期限がある。

生物学的に言って、必ず劣化する。

人生80年時代ではあるが、ピークは30～40歳前後だ。

ピークを長く維持していくことは可能であろう。

夢や希望、やりたい事はたくさんある。

※ライバルは過去の自分、

肉体的にも精神的にもまだまだ成長できるはず。

※アドバイザー（助言者）は未来の自分、

10年後の自分に、後悔していないか聴いてみる。

やりたいことは、今すぐ、早く始めた方が良い。

本気を出して、徹底的に、とことんやった方が良い。

勉強も受験も、趣味も遊びも・・・何事でも共通である。

さあ、明るい未来は自分で切り拓いていけると信じよう。

そして、パートナーを見つけて家族をつくろう。

楽しい事、うれしいことは2倍、3倍、4倍に・・・

辛い事、悲しいことは2分に1、3分の1に・・・

100mを10秒で走ることは、一部の人にしかできないが、

全力で走り切ることは誰にでも出来る。

頑張れ受験生、君ならきっと出来るはずだから。

「終わり」について

5組副担任 磯部優子

「死」、皆さんはこの言葉にどのようなイメージを持ちますか。恐らくプラスのイメージを持つ人はほとんどいないのではないのでしょうか。私も同じでした。しかし、数年前にある生徒の言葉から私の「死」に対するイメージが大きく変わったのです。

その頃担任だった私は、毎日 SHR の時間に「今日の一言」という題目で生徒に好きな言葉を一人一つずつ紹介してもらっていました。有名なことわざや四字熟語の紹介が続く中、ある男子生徒が「死」という言葉を選びその理由を説明してくれたのです。以下その内容です。

「何事も終わりがあるから充実したものになるし、そうしようと人は努力するのではないか。いかに楽しい出来事も終わりもなく永遠に続いたら、喜びは得られなくなるし、いずれそれは苦痛に変わるかもしれない。人の人生も同じである。終わり（死）があるからこそ、その人生を実りあるものにするため、ひたむきに生きることができないのではないか。」

さて、今皆さんの多くは受験という大きな試練に立ち向かっています。しかし、終わりは少しずつですが、近づいてきています。必ず終わりはやってきます。その時、良い終わりが迎えられるように、自分のがんばりに満足でき誇らしく思えるように、今は目の前の試練に果敢に挑んでいって下さい。そして、その後の人生においても同じように歩んで行ってくれることを願っています。